

小さな群れ

カトリック美唄教会
2022年1月 No.296
2021年12月26日発行

新しい年を迎えて

主任司祭 ナルチゾ神父



新しい年を迎えた今日、降誕8日目にあたる1月1日に、教会は、ローマの古い伝統に従い、“神の母マリア”の祭日を祝います。

マリアを「神の母」と宣言したのは、431年のエフェソ公会議でした。年のはじめをマリアの記念日として祝い、祈るのは古いローマ教会の伝統によっています。また、この日がことに大事にされるようになったのは、12月25日から数えてちょうど8日目にあたるからです。

8日目にあたる今日、誕生した神の子は「イエス」と命名されることにより、正式に神の民の歴史、人類の歴史の一員になります。

そして、マリアには、救い主としてのイエスの使命に、自分も深く一致するという母の姿があります。

マリアは、羊飼いたちにイエスを示し、彼らを喜びでみましたが、今日も私たちに恵みそのものであるイエスを示し、与え続けられます。

今日は「世界平和の日」でもあります。世界の人々と心をひとつにして、たまものである平和を祈り求めましょう。

教会は、年の最初の朗読を、イスラエルに伝わる民数記6章の祝福の言葉ではじめます。

創造の時、「神はお造りになったすべてのものを御覧になり」、それは「良かった」とすべてを「祝福し、聖別され」ました。

「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし

あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて

あなたに平安を賜るように。」

この祝福の源は神ご自身ですが、この神の祝福の行為に私たちのそれをも合わせ、出会う人々のために主に祝福を願う日としてはいかがですか。（Laudate）

主任司祭 ナルチゾ神父

2022年1月 主日ミサ・平日のミサ 予定

美唄教会 小さな群れ
2022年 1月 No.296
2021年 12月 26日発行

1月 平和を求める祈り

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
1	土	神の母聖マリア	午前 11:00		世界平和の日・元旦
2	日	主の公現	午前 11:00		
7	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
9	日	主の洗礼	午前 11:00		ミサ後 運営会議
14	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
16	日	年間第2主日	午前 11:00		
21	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	聖アグネス殉教者
23	日	年間第3主日	午前 11:00		
28	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
30	日	年間第4主日	午前 11:00		世界子ども助け合いの日

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前 10:30 7・14・21・28日です
《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

霊名の祝日 (敬省略)		清掃当番	花 当番
1日	神の母聖マリア 河野智子	第2週 葛西・東	大城
21日	アグネス 東 可奈子・板垣 春江	第4週 幼稚園	

【お知らせ】

- ◎ 12月31日 (金)
- ◎ 1月30日 (日)

美唄教会では、ミサはありません
世界子ども助け合いの日特別献金です。

✦ 主の平和

クリスマス おめでとうございます

セシリア 中村信子



「小さな群れ」に投稿するにあたり、美唄教会の皆様のお一人おひとりを思い浮かべながら、お礼の気持ちとこのクリスマスを迎えての自分の心境などを書きたいと思います。

美唄に住んで46年、夫が亡くなって20年が過ぎました。無力な私が、今こうしていられるのは、神様がいつも一緒にいて下さったから....

という確信。そして、共同体の皆様が折に触れて支え、助けて下さったお陰と常々思っています。本当にありがとうございました。

ナルチゾ神父様には、美唄教会とアカシヤ幼稚園の子ども達のために砂川から通ってくださっていることに、心から感謝しています。

毎週金曜日の聖書に親しむ時間では、2018年から創世記、出エジプト記、

ヨシュア記、士師記、サムエル記、列王記、そして現在箴言を読んでいます。私はこれまで旧約聖書は断片的には、読んでいても、ず〜っと最初から通して読んでいませんでした。多分、独りで読んでいても難しく、途中で眠くなりますね（笑）



日本のカトリックの現状は、神父様の高齢化や減少で、私たち信徒もいつまでも神父様に頼ってばかりではいけない！もっと自立しなければ！と言われています。

そんな中で、ナルチゾ神父様に解説していただきながら、皆で少しずつ読み進んでいけたのは、とても幸せなことと思っています。

これまで知らなかった意味が分かったり、旧約聖書がより深く、そして新約聖書へとのつながり等々、気づかされることが沢山ありました。ありがとうございます。

クリスマスは、私にとって生まれて一ヶ月後に洗礼を受けた記念日でもあります。母が私のために誕生から書き綴ったノートには、この日のことを「最終列車で清水沢の教会に行き（当時は深夜のミサでした）、午前6時の汽車で帰宅。洗礼式も、ごミサの間も泣かずにいたので嬉しかった」とあります。今年で71年目を迎え、私の信仰生活は、まことに生ぬるいものでしたが、ここまでたどり着いたことに、神様の計らいを感じます。

詩編24に「神の山に登る人、それは手に汚れなく、心の清い人」とあります。私もそうありたいと願いつつ、生きている限りは、色々なことに出会います。道に迷わないように、しっかり山に登れるように守り導いて下さいと祈る今日この頃です。



幼きイエス様の祝福が、

皆様の上に豊かに ありますよう

お祈り申し上げます。

感謝のうちに